



# 関東大震災から100年

# “いざという時の支えあいは 日ごろのつながりから”



## すみだ 地域福祉・ボランティア フォーラム

令和5年7月1日 **土** 13:00~16:30 開場12:30

### ●講演

講師:長谷部 治 氏

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会地域支援部担当課長

テーマ:日ごろの何が暮らしを守るのか

### ●分科会

- ①災害時、私たちにできるボランティア
- ②日ごろのコミュニケーションと災害時の助けあい
- ③いざという時、あなたは どうする

### ●会場・定員

すみだリバーサイドホール (定員150名)

墨田区吾妻橋1-23-20

・東武伊勢崎線・東京メトロ銀座線・都営地下鉄浅草線  
「浅草駅」より徒歩約5分

・都営地下鉄浅草線「本所吾妻橋駅」より徒歩約5分

※お車での来場は、お控え下さい。

### ●申込方法・申込先

必要事項を記入の上、裏面の参加申込書あるいはメール、FAX又は電話でお申し込みください。

※申込期限：令和5年6月26日(月)

【申込先】墨田区福祉保健部厚生課

メール：KOUSEI@city.sumida.lg.jp

TEL：03-5608-1163 FAX：03-5608-6403



# 参加申込書

以下の必要事項を記入の上、メール、FAX又は電話でお申し込みください。※は記入必須

※名前	所属団体（個人の方は、記入不要です。）
※メールアドレス @	※電話番号

※参加を希望する分科会に○をつけてください。

- 1 災害時、私たちにできるボランティア
- 2 日ごろのコミュニケーションと災害時の助けあい
- 3 いざという時、あなたは どうする

●手話通訳希望の場合は右記の□に✓マークをご記入ください。

●一時保育（1歳～未就学児まで）を希望の場合は右記の□に✓マークをご記入ください。

●申込先：墨田区福祉保健部厚生課

F A X : 03-5608-6403

電 話 : 03-5608-1163

メール : KOUSEI@city.sumida.lg.jp

※メールでの申込みは、件名に「地域福祉ボランティアフォーラム申込」とご記入ください。



メールアドレスの  
QRコードはこちらです。



GoogleフォームのQRコード  
からもお申込みいただけます。

## プログラム

13:00

オープニング

13:15

講演

テーマ：日ごろの何が暮らしを守るのか

関東大震災やこれまでの震災における支えあいと様々な活動を踏まえながら、日ごろのつながりやコミュニケーションを大切にすることが災害時の助けあいにつながるという視点で御講演いただきます。

14:15

分科会

(ホール・会議室等)

16:00～

まとめ・講評

講師

■長谷部 治 (はせべ おさむ) 氏

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会地域支援部担当課長

【講師プロフィール】

岐阜県関市出身。

大学時代、阪神・淡路大震災を契機にボランティアとして神戸にきたことをきっかけに社会福祉協議会に入職し、以降27年間、福祉教育・ボランティア学習やボランティアセンターを担当している。

現在は地域福祉ネットワークとして「ひとりの人を救う経験を社会の仕組みに」をスローガンに掲げて活動している。



## 【災害時、私たちにできるボランティア】

- 1 近年、各地で大規模な自然災害が発生しており、ボランティアは災害時の復旧・復興に欠かせない存在です。地域における災害時のボランティア活動はどのようなものがあるのか、その時私たちに何ができるかについて考えます。

## 【日ごろのコミュニケーションと災害時の助けあい】

- 2 災害時には、地域で協力し助けあう「共助」が大切です。日ごろのコミュニケーションや多世代との関わり方などについて、これからの地域福祉の担い手として期待される若い方の視点にも着目しながら、災害時の助けあいにつながる地域づくりについて考えます。

## 【いざという時、あなたは どうする】

- 3 大きな災害はいつ起きるか分かりません。参加者の皆様には様々な問題に直面した「当事者」として、その時どのように行動するかをカードゲーム（クロスロードゲーム）を通じて考えます。

